



# 2021年3月期 第2四半期 決算説明資料

2020年11月9日

住友ベークライト株式会社  
代表取締役社長 藤原 一彦

# 2021年3月期第2四半期 決算概要

# 2021年3月期 第2四半期 連結業績 (前年同期比)

【IFRS】

[金額単位：億円]

	2020年3月期 第2四半期 実績①	2021年3月期 第2四半期 実績②	前年同期比較	
			金額 (②-①)	増減率
売上収益	1,050	902	-148	-14.0%
事業利益	85	48	-36	-42.7%
営業利益	83	39	-44	-52.6%
当期利益	73	32	-41	-56.6%

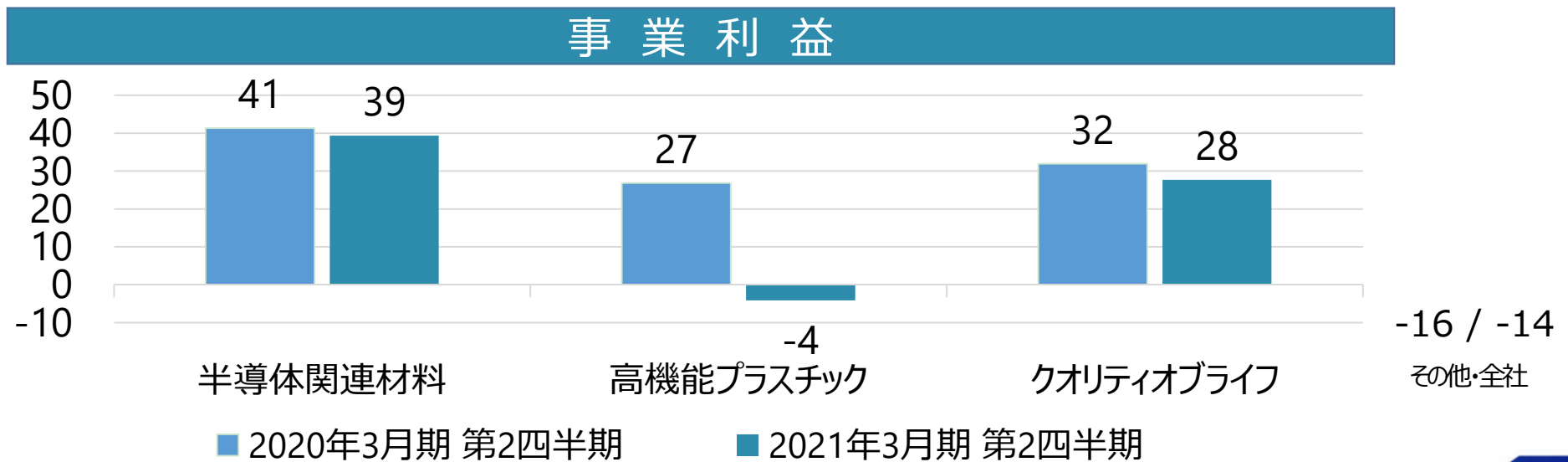
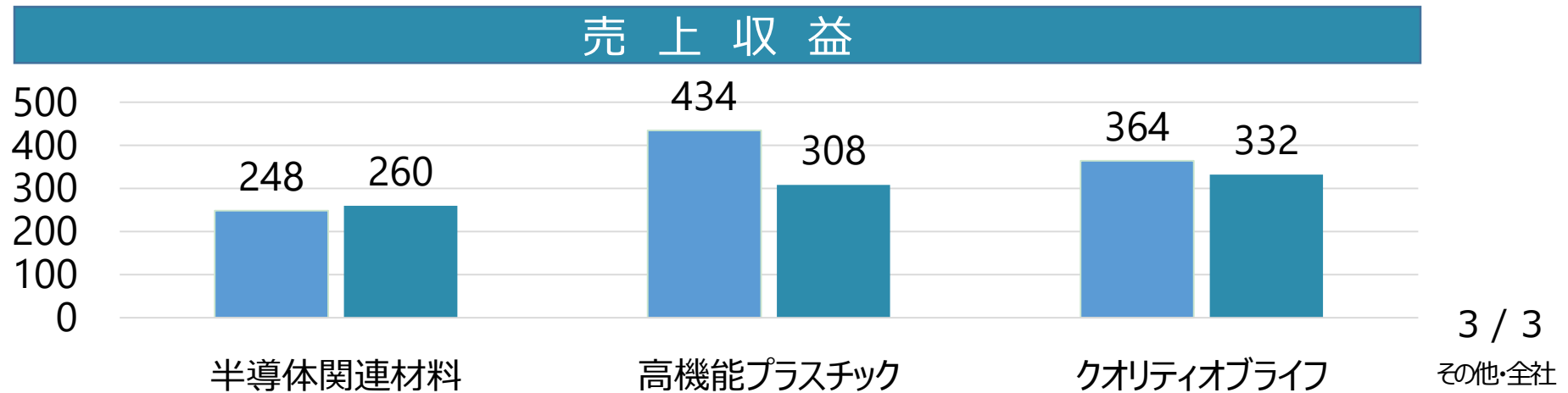
為替レート

USD (\$/¥)	109.00	106.68	-	-
EUR (€/¥)	121.43	121.36	-	-

※「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除したベース  
「当期利益」は親会社所有者に帰属する四半期利益

# 事業セグメント別業績比較 (前年同期比)

[金額単位：億円]



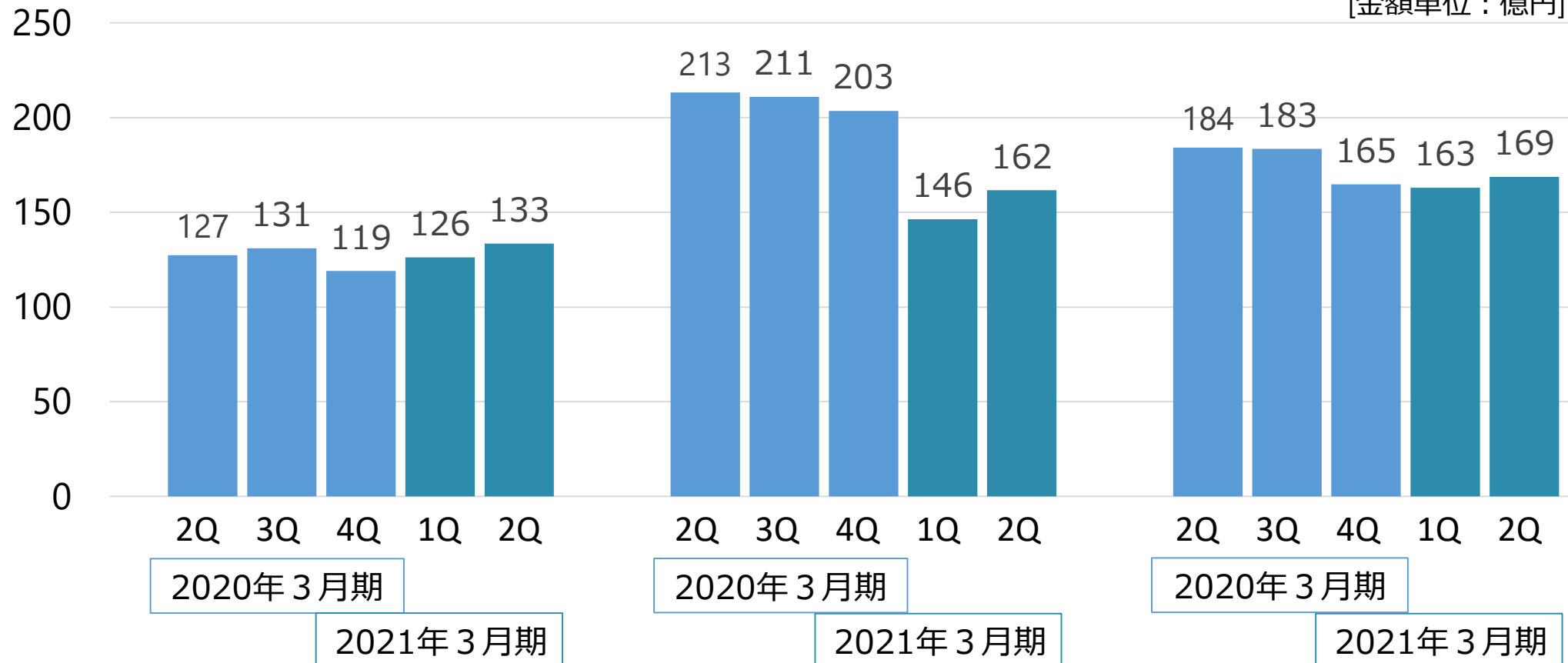
# 事業セグメント別 四半期販売推移

## 半導体関連材料

## 高性能プラスチック

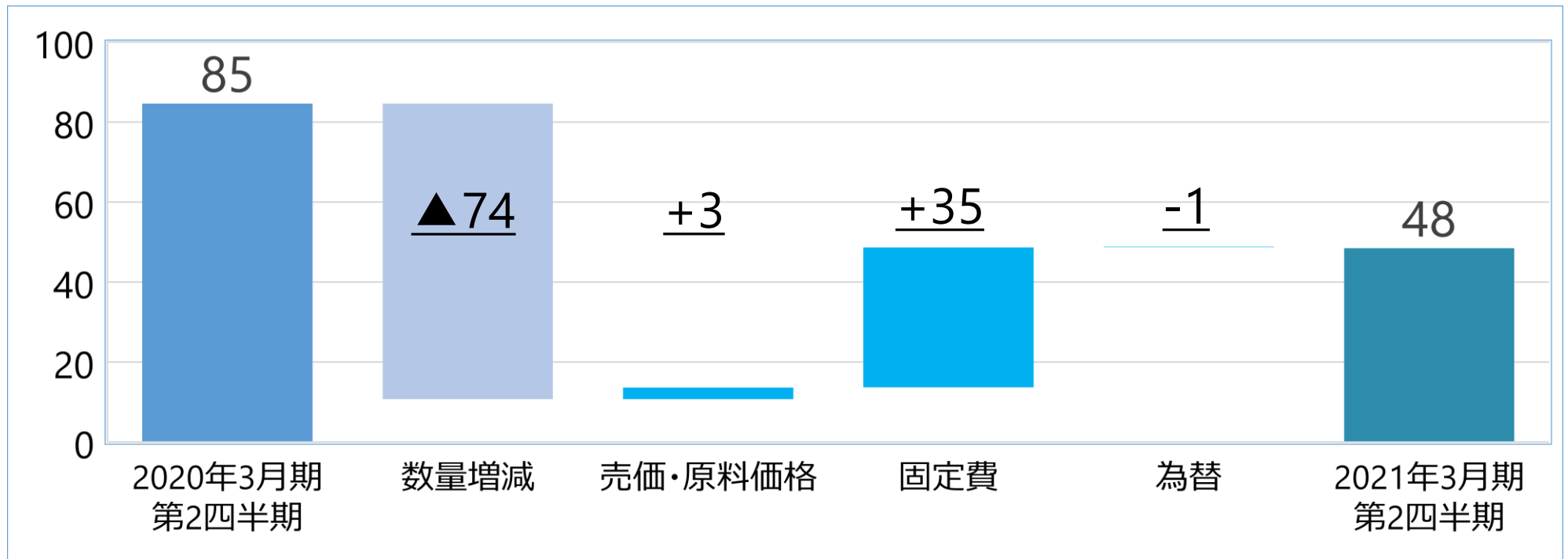
## クオリティ オブ ライフ

[金額単位：億円]



# 事業利益増減要因 (前年同期比)

[金額単位：億円]



セグメント別	数量増減	売価・原料	固定費	為替
半導体	+ 1	▲ 3	+ 0	- 1
高機能	▲ 6 0	+ 4	+ 2 5	+ 0
Q O L	▲ 1 5	+ 2	+ 8	+ 0
合計	▲ 7 4	+ 3	+ 3 5	- 1

# 2021年3月期通期 業績予想

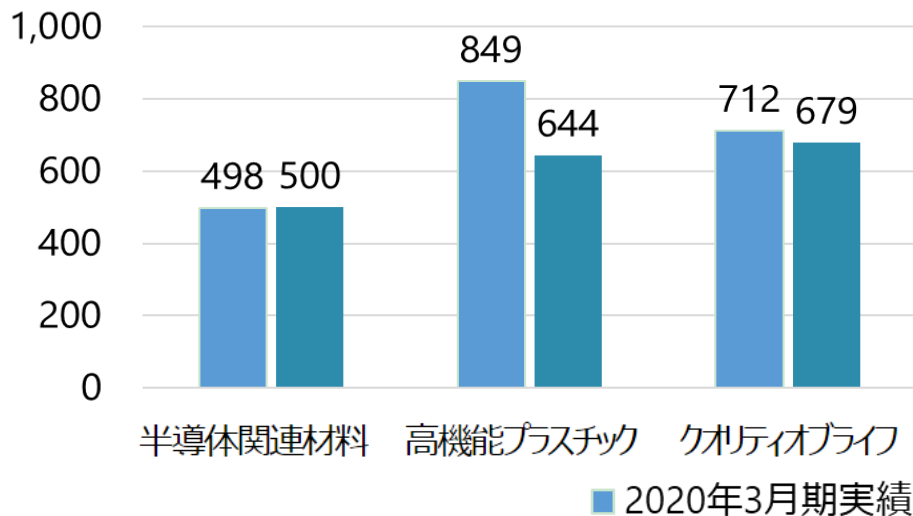
# 2021年3月期 通期 連結業績予想 (前年同期比)

[金額単位：億円]

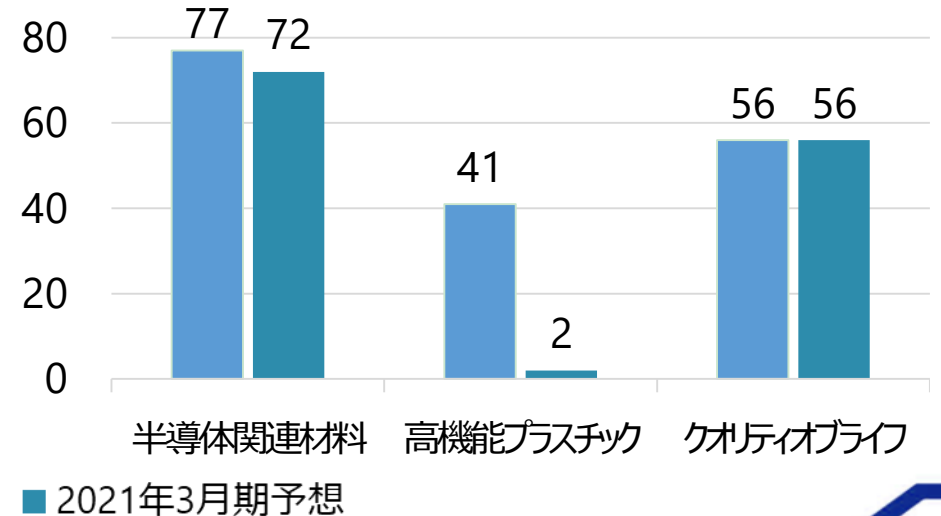
【IFRS】	2020年3月期 実績①	2021年3月期 予想②	前年同期比較	
			金額 (②-①)	増減率
売上収益	2,066	1,830	-236	-11.4%
事業利益	143	100	-43	-30.3%
当期利益	90	74	-16	-17.7%

※「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除したベース。「当期利益」は親会社所有者に帰属する当期利益

## セグメント別売上収益



## セグメント別事業利益

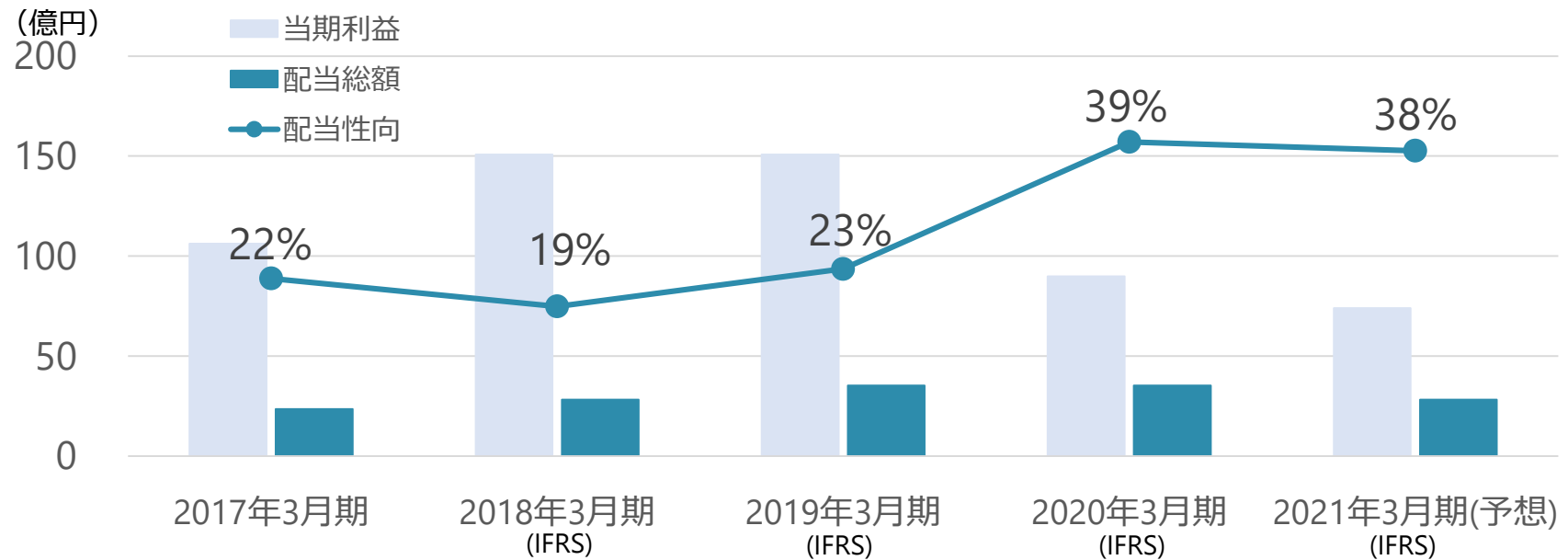




# 配当

■ 配当金額 : 60円 / 1株 (中間30円・期末30円)

■ 配当方針 : 安定的・継続的配当、配当性向30%目安



## 【配当金(円) / 株】

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期(予想)
中間配当	5.00	6.00	37.50	45.00	30.00
期末配当	5.00	6.00	37.50	30.00	30.00
年間配当	10.00	12.00	75.00	75.00	60.00

※2018年10月に株式併合(5株 ⇒ 1株)を実施したが、2019年3月期は併合後ベースで表記。

# セグメント別下期重点施策

# 半導体関連材料（先端材開発と生産増強）

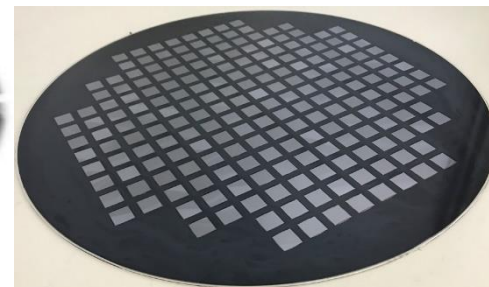
## ■ 高集積デバイス領域の事業拡大

### ・ 成長する先端パッケージ向け材料の拡充

MUF（モールドアンダーフィル）材  
圧縮成形用顆粒材

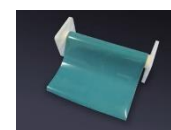
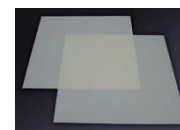


半導体封止材



### ・ 5G、IoTに対応する高機能材料の展開

高機能封止材のラインナップ拡充  
低誘電基板材料（LαZ）  
再配線用感光性材料（CRC）



## ■ 顧客要求、需要増大に先回りした投資

- ・ 中国市場拡大に対応した増産対応投資（蘇州）
- ・ MUF、日・中・台3拠点体制確立、能力拡大
- ・ 先端デバイスに対応した高品質化投資



蘇州住友電木有限公司

半導体封止材 WWシェア40%へ（2021年）

## ■モビリティ用戦略3製品強化 ⇒ 2025年120億円販売計画

- ・モーター磁石固定材料： 欧州前倒し生産開始、米国生産検討開始
- ・パワーモジュール封止材： 次々世代に向けた開発強化（SiC対応）
- ・ECU一括封止材： 欧州での新生産ライン着工

## 電動化の動きが加速 ⇒ 市場の動きに応じた取り組み強化

## ■次世代電動アクスル市場開発推進プロジェクト活動中

- ・樹脂化電動アクスルを社内で試作 & 顧客視点データで新市場開拓

### 重点分野

#### ステーター

コイルエンド樹脂封止：  
絶縁性・高信頼性

#### ローター

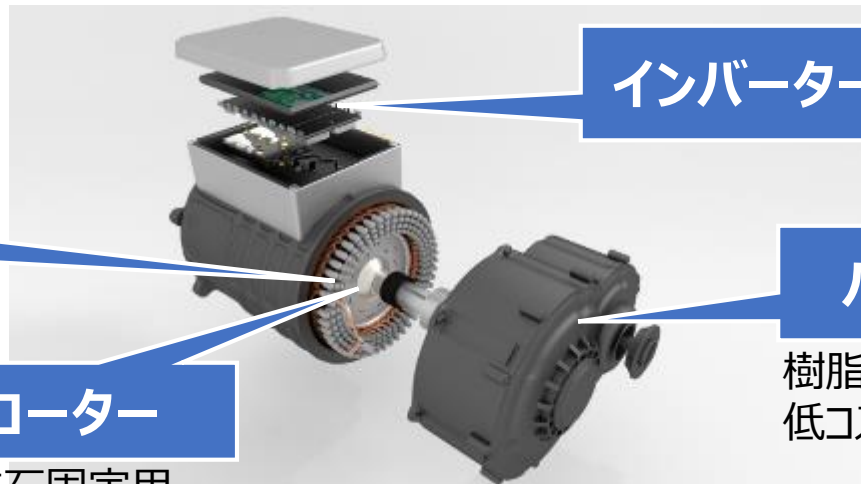
磁石固定用

#### インバーター

各種放熱材料で  
サーマルマネジメント

#### ハウジング

樹脂化による軽量化・  
低コスト・静音化



## 市場毎の需要変動に応じた「身の文化」の徹底

### 構造改革

#### ▼WWでの固定費削減策の実行

2Q固定費 ▲25億円(前年同期比)

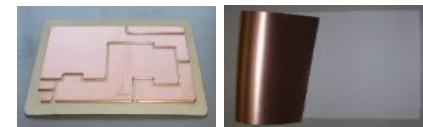
- ・昨年からの労務費削減（人員削減、一時帰休、集中生産）等を  
中心とした「身の文化」を継続して徹底推進

## 成長市場への注力で事業の拡大・強化

### 放熱

#### ■サーマルマネジメント向け放熱材料で拡大

- ・ニーズに応じた放熱性能、12W材拡大、18W材開発中



### 金属代替

#### ■機能優位な成形材料で金属部品代替を加速

- ・高寸法安定材「SiON」：電動パワステ用ギアプーリー



高寸法精度材料「SiON」で  
成形されたEPSギアプーリー

### 環境対応

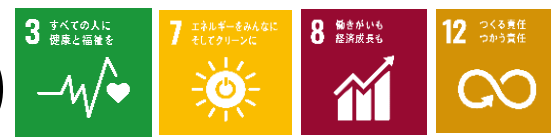
#### ■環境にやさしい植物由来フェノール樹脂で新市場開拓

- ・リグニン変性フェノール樹脂（バイオマス原料 & 高強度、柔軟性、高硬度）



リグニン変性樹脂

# クオリティ オブ ライフ(ヘルスケア)



## ■ 川澄化学工業とのシナジー発現に注力

- ・成長領域：低侵襲治療分野への展開（ステント、ステントグラフト、マイクロカテーテル）
- ・両社生産拠点・販売拠点の効率的活用他

### 川澄化学工業



大動脈用ステントグラフト



大腸ステント



I T胆管ステント

### 両社注力分野：低侵襲治療



内視鏡治療



血管内治療

### 研究開発拠点を川崎に新設

川澄化学は、2021年秋、川崎・キングスカイフロントに新研究所を開設予定。低侵襲治療分野製品開発の拠点に



羽田空港に近く、国内外からアクセス良好

### 規模拡大による業界プレゼンスの向上

### 住友ベークライト



消化管ステント



内視鏡クリップ<sup>®</sup>



ステアリングマイクロカテーテル

# クオリティ オブ ライフ (フィルム・シート、産業機能性材料)

## 【フィルム・シート】

医薬品用

- 新・高防湿タイプ、バイオマス材投入でさらなるシェアアップ



食品用

- 新製品「スキンパック」新市場創出 消費期限延長でフードロス削減  
⇒ 生肉用で店頭販売開始
- 環境対応包装材料に開発シフト  
(モノマテリアル成形用シート、リサイクル材、薄型高剛性材)



普及進む  
スキンパック包装

## 【産業機能性材料】

車載用

- 光学制御技術を生かし差別化材料の開発  
ヘッドアップディスプレイ用、センシングカメラ用偏光フィルター実績化



アイウェア

- 重要顧客への B to B 活動で偏光板シェアアップ  
欧米向けサングラス用、医療ゴーグル用拡大